

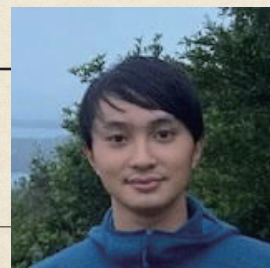
先輩からのメッセージ

Message



Message

森林科学専攻
環境デザイン学
修士課程 2 回生
綾部 芳秀



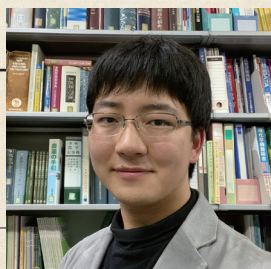
森林科学専攻では、森林環境に関する分野や、森林と人間の関係に関する分野、木材に関する分野、木から抽出された化学成分を扱う分野までさまざまな視点から研究を行っています。

私が所属する環境デザイン学分野では、各学生が興味を持ったことに沿ってテーマを決め様々な手法からアプローチをします。対象は、里山と人との関わりから、京都の緑地や庭園に至るまで幅広く行っています。それぞれが研究の中で地元の方々にご協力を頂きながら交流をし、また研究室では異なる興味を持つ学生同士が交流する、そういった楽しみもあります。

本専攻の分野は非常に多岐にわたっており、実験室で研究を行うものから国内外でのフィールドワークもあり多様です。そのため、皆さんの興味にあった分野が必ず見つかると思います。ぜひいろいろな研究室を訪れ、先生方や先輩との交流を通して、自身にあった研究室に巡りあってください。

Message

農学専攻
作物学
修士課程 2 回生
多田 光史



農学専攻では、世界的な人口増加に伴う食糧不足を解決する上で最も重要な食糧生産の向上に直結する研究を幅広く行っています。私はイネ・ダイズ等の作物の生産性向上を目指す作物学分野に所属し、ダイズ土壌病害の被害をどのような栽培技術によれば抑制できるのかについて研究しています。

本専攻では例年ソフトボール大会や予餞会などの行事がありますが、イチ押しは附属農場で開催される合同田植え会です。田植えを通して作物生産の原点に立ち返り、その後の^{きふり}稲苗（豊作を祈って打ち上げ）で他研究室の先生方や学生と親睦を図っています。

本専攻の魅力はマクロからミクロまで本当に幅広い研究を包含しているところだと思います。国内外のフィールドへ調査に行く人もいれば、遺伝子解析など実験室での緻密な実験を行う人もいます。是非、気軽に研究室を訪問してみてください。きっとあなたにピッタリの研究室が見つかります。

現在、そして未来の食糧問題を解決するという大目標を掲げ、私たちともに充実した大学院ライフを送りませんか？

Message

応用生命科学専攻
発酵生理及び醸造学
修士課程 1 回生
西谷 謙多



応用生命科学と聞いてどのようなイメージを抱くでしょうか？文字通り「生命を応用する」研究を行っているのですが、具体的なイメージを抱けたヒトは少ないのではないかと思います。そのため、今回は一例として私の所属する発酵生理及び醸造学分野に関して述べたいと思います。

当分野は微生物の持つ無限の潜在能力を自然界から探索し、社会や暮らしに役立てることを目指しています。実際には、乳酸菌、酵母、腸内細菌といった研究室が保管する菌や実際に外に出て採ってきた菌を用いて新たな能力を持つかを調べ尽くします。こうした研究を通して、「0を1にする」考え方と、産業という「出口」を意識しながら俯瞰的に研究に取り組む視点が身に付きます。

他の研究室も様々な研究を行っているため、実際に研究室を訪問して空気感を味わってほしいと思います。きっとあなたに合った研究室が見つかるはずです。

Message

応用生物科学専攻
海洋分子微生物学分野
修士課程 1 回生

今 浦 由 就



この専攻では、原核生物から動植物、菌類に至るまで多様な生物を対象とし、生命現象とその機能、ヒトとの関わりについて解明する傍ら、その成果を有用物質の生産と利用に適用する研究に取り組んでいます。私はその中で、熱水環境を中心に世界各地で発見されている一酸化炭素を代謝する微生物の研究を行っています。培養実験による株間の形質比較、バイオインフォマティクスによる遺伝子の分布解析など、日々試行錯誤を行う中で新たな発見を楽しんでいます。研究対象とする生物や課題へのアプローチ法が異なる研究室が集まっていて、生物の進化や生命現象に関する謎を色々な視点から追求できることがこの専攻の魅力です。それぞれの研究室について知っていくたびに新しい発見やワクワクする研究に出会えると思うので、興味のある研究室には是非訪問して、未知の課題に挑む楽しさの一端を感じてみてください。

Message

生物資源経済学専攻
食料・環境政策学分野
修士課程 2 回生

武 井 七 海



当専攻では私達が無気なく口にしているもの、目にしている風景の裏舞台を学ぶことができると思います。例えば、お米。どういう流れで食卓まで届くの？日本米が高いのはなぜ？環境にはどんな影響を与えるの？などなど。私達はこのような疑問や、疑問を解決するための手段を体系的に勉強し、さらに新しい問いを立て、自らの研究に励んでいます。

私は、途上国の農業も知りたい!と思い、青年海外協力隊員としてペナン共和国に行くという道に進みました。そして、ペナンの農業は気候変動によって甚大な影響を受けていることを目の当たりにしました。この経験から、現地の方々の役に立つ、農業と気候変動に関する研究がしたいと強く思うようになりました。

貴方は何のために学びますか？当専攻では扱うテーマが幅広く、自分の研究室以外の先生とも気軽に意見交換できる環境があります。きっと大学院に来てよかったと思える研究に出会うことができると思います。

Message

地域環境科学専攻
施設機能工学分野
修士課程 1 回生

小 西 亜 実



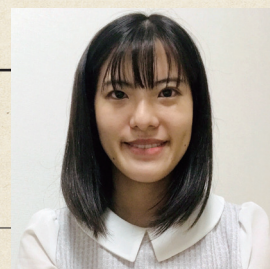
地域環境科学専攻では、都市・農村・里山・熱帯地域の観点から様々な環境問題に対して多角的な研究を行っています。私の所属する施設機能工学分野では、ため池などの農業水利施設のストックマネジメントを目的として、水と土の関わり合いについて、基礎から応用まで多様なトピックに取り組んでいます。私は現在、土の表面がその中を流れる浸透水から受ける力を定量的に把握する研究を行っています。研究室に所属する仲間と意見交換を行い、相談することで、新たな気付きを得ることができ、日々刺激を受けながら研究に取り組むことができます。

当専攻では、本当に多くの研究テーマが存在しています。研究分野によって、全く異なるテーマに取り組んでおり、研究領域の幅広さと奥深さに驚きます。皆さんも、興味とやりがいの持てる研究に巡り合いませんか。

Message

食品生物科学専攻
生命有機化学分野
修士課程 2019 年度修了

押 村 亜 沙 美



食品生物科学専攻は化学、生物学、物理学など様々な側面から食品および生命現象にアプローチすることを特徴としており、幅広い学問分野の知見を広めることができます。社会人となった現在でも、本専攻で養った「一つの物事を多面的に考える力」は非常に活きていると感じます。

私が在籍した生命有機化学分野は、有機化学的手法を用いて生命現象を解明することを目的としています。その中で私は、天然物由来の新規抗がん剤シーズを開発するというテーマに携わり、開発している化合物が医薬品になるかもしれないという期待感を胸に、有機合成や機器分析に奮闘する2年間で過ごしました。紆余曲折の末、目的化合物が完成した時の達成感は今でも鮮明に覚えています。

恵まれた研究環境で丁寧、親切的な指導を受けられることも本専攻の魅力の一つです。皆さんが食品生物科学専攻で夢のある素敵な研究に巡り合い、充実した研究生生活を過ごせることを願っています。

入試案内

1. 2022年度入学試験及び日程

【修士課程（一般・社会人特別選抜）】

募集要項配付：2021年6月上旬
願 書 受 理：2021年7月上旬
入 学 試 験：2021年8月中旬～下旬
合格者発表：2021年8月下旬～9月上旬

【修士課程（第二次・私費外国人留学生特別選抜）】

【博士後期課程（一般・社会人特別選抜・私費外国人留学生特別選抜）】

募集要項配付：2021年11月上旬
願 書 受 理：2021年12月上旬
入 学 試 験：2022年1月下旬
合格者発表：2022年1月下旬

2. 募集要項

募集要項は内容が確定次第、ホームページに掲載します。受験を希望される場合は、各自でホームページからダウンロードしていただくようお願いします。

3. 入試情報

志望者は事前に志望する専門種目（研究室）の教員（下記のURL）と連絡を取ってください。
なお、過去の入試問題についても各研究室等が対応します。
<http://www.kais.kyoto-u.ac.jp/japanese/graduate/>

4. 大学院入試関係窓口

京都大学 農学研究科大学院教務掛

住 所：〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

電 話：075-753-6014

受付時間：9:00-12:00 / 13:00-17:00（ただし、土曜、日曜、祝日を除く）

(各年度 4月1日付入学)

修士課程入学状況

年 度	一 般 選 抜					特別選抜による 入学者		入 学 者		
	入学定員	出願者	合格者	辞退者	入学者	私費 留学生	国費 留学生	計	男	女
2016	303	374	304	18	286	22	9	317	218	99
2017	303	377	307	11	296	17	7	320	220	100
2018	303	386	295	12	283	16	6	305	194	111
2019	303	385	293	16	277	25	9	311	205	106
2020	303	347	291	15	276	26	7	309	200	109

修士課程入学者出身別構成

年 度	本学農学部	本学他学部	国内他大学	国外他大学	計
2016	209	3	77	28	317
2017	236	3	61	20	320
2018	216	3	68	18	305
2019	224	2	56	29	311
2020	212	4	65	28	309

博士後期課程への進学・編入学状況

年 度	入学定員	本学からの進学者		編 入 学 者				入 学 者		
		日本人 学生	留学生	出願者	入学者	出願者 (留)	入学者 (留)	計	男	女
2016	90	28	4	18	18	6	6	56	46	10
2017	90	33	3	13	11	10	10	57	38	19
2018	90	20	2	14	9	8	8	39	31	8
2019	90	26	5	11	11	11	11	53	38	15
2020	90	24	10	7	6	9	5	45	32	13

進路状況

修士課程修了者の進路状況

年 度	修了者	進 学	就 職	その他	就 職 先			
					研究者	技術者	教 員	その他
2015	277	38	228	11	61	86	0	81
2016	321	42	266	13	69	99	6	92
2017	318	31	262	25	69	115	2	76
2018	331	39	270	22	75	96	0	99
2019	309	49	246	14	65	87	1	93

博士後期課程修了・認定退学者の進路状況

年 度	修了・認定退学者	就 職	その他	就 職 先			
				研究者	技術者	教 員	その他
2015	53	32	21	17	5	5	5
2016	73	36	37	18	3	5	10
2017	65	26	39	13	8	3	2
2018	68	37	31	19	6	8	4
2019	59	41	18	22	4	12	3

2019年度 修士課程修了者の産業別活動状況

業 種	専 攻	農 学	森林科学	応用生命科学	応用生物科学	地域環境科学	生物資源経済学	食品生物科学	合 計
製造業	農・林・漁業								0
	鉱業・建設業		3	1		1	1		6
	食料品・飲料・たばこ	7	1	7	8	4	1	13	41
	繊維工業		1						1
	印刷等								0
	化学工業・石油	3	5	14	5	2		5	34
	鉄鋼業・金属		1						1
	機械・電気	3	4	10		9	2	4	32
	その他								0
サービス業等	電力・ガス			1		3	1		5
	情報通信業・運輸業	2	10	4	6	5	2	4	33
	卸売・小売業	1	3	7	3	4	1	1	20
	金融・保険業	2	1	1	4	1	1		10
	学術研究・専門・技術	6	7	6	6	3		2	30
	宿泊・飲食業		1						1
	その他		3		4	3			10
教育	学校教育	1	1	1					3
	学習支援業				1		1	1	3
公務	国家公務		2		3	3			8
	地方公務	1	2	1					4
	上記以外			1		3			4
合 計		26	45	54	40	41	10	30	246

2019年度 博士後期課程修了・認定退学者の産業別活動状況

業 種	専 攻	農 学	森林科学	応用生命科学	応用生物科学	地域環境科学	生物資源経済学	食品生物科学	合 計
製造業	農・林・漁業								0
	鉱業・建設業					1			1
	食料品・飲料・たばこ			2				1	3
	繊維工業								0
	印刷等								0
	化学工業・石油		1			1			2
	鉄鋼業・金属								0
	機械・電気			1					1
	その他								0
サービス業等	電力・ガス								0
	情報通信業・運輸業					1			1
	卸売・小売業			1					1
	金融・保険業								0
	学術研究・専門・技術		1	1					2
	宿泊・飲食業								0
	その他		1				1		2
教育	学校教育	1		4	6	10	1	1	23
	学習支援業		2			1			3
公務	国家公務								0
	地方公務		1						1
	上記以外		1						1
合 計		1	7	9	6	14	2	2	41